第7回

WEATHER-Eye オープンフォーラム

基調講演 13:05-14:50

司会: 佐藤 陽祐 氏(北海道大学)

「火山灰による航空機被害の経緯と今後の課題」 小野寺 三朗 氏(NPO法人火山防災推進機構)

「雪と航空機の運航」

満 満男 氏(気象庁航空交通気象センター首都圏班)

「小松空港周辺における冬季の航空機被雷について 〜金沢事故の教訓を活かした雷研究の五十数年の歩み〜」 道本 光一郎 氏(元防衛大学)

一般講演 15:10-16:50

司会: 坪井 涼 氏 (大同大学)

東京理科大学 山本 誠 氏 防災科学技術研究所 平島 寛行 氏 株式会社ソニック 伊藤 芳樹 氏 宇宙航空研究開発機構 宮木 博光 氏 三菱重工業株式会社 池松 隆 氏



オンライン開催(Zoom)

参加費無料 定員 **500**名

2022.12.6®

12:30から入室可 13:00-17:00 配信

配信 URL: 事前参加登録者に別途電子メールでご案内



https://www.weather-eye.jp/event/weye2022.html

後援/協賛

国土交通省、文部科学省、CARATS 航空交通管制協会、電気学会、土木学会 日本ガスタービン学会、日本機械学会 日本気象学会、日本技術士会、日本光学会 日本航空宇宙学会、日本航空宇宙工業会 日本航空機操縦士協会、日本航空技術協会 日本雪氷学会、日本複合材料学会(すべて予定)

主催/お問い合わせ

気象影響防御技術 (WEATHER-Eye) コンソーシアム事務局 info@weather-eye.jp





航空機の安全・運航効率の向上へ

WEATHER-Eye コンソーシアム

コンソーシアムには、運航会社・メーカ・大学・研究機関が 集まり、航空工学の枠を超えて様々な分野の知見を糾合した イノベーションをオールジャパン体制で推進しています

活動の一環として、気象影響防御技術の研究開発の指針と する我が国としてのビジョンも策定しています

- 2015年

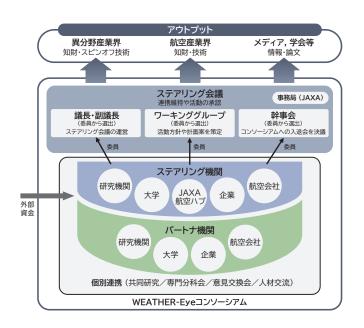
気象影響防御技術の研究開発 取り組み開始

- 2016年1月15日

気象影響防御技術の研究開発に関する連携協定 締結 気象影響防御技術コンソーシアム 設立 (別称: WEATHER-Eye コンソーシアム)

- 2019 年 11 月改訂(2016 年 10 月初版策定) WEATHER-Eye ビジョン

 - 特殊気象から航空機を守る技術の開発と展望 [第3版]



加盟機関(全45機関) 2022.8 時点 ※五十音順

ステアリング機関(23)

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

国立大学法人大阪大学

神奈川工科大学

関西大学

気象庁気象研究所

国立大学法人北海道国立大学機構北見工業大学

国立大学法人熊本大学

株式会社 JAL エンジニアリング

株式会社 SUBARU

株式会社センテンシア

全日本空輸株式会社

双日株式会社

国立大学法人東京大学

国立大学法人東京農工大学

学校法人東京理科大学

国立大学法人東北大学流体科学研究所

国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 国立大学法人名古屋大学ナショナルコンポジットセンター

日本航空株式会社

日本特殊塗料株式会社

国立研究開発法人防災科学技術研究所

首都圏レジリエンス研究推進センター(部署名変更手続き中) 丸紅エアロスペース株式会社

国立大学法人山形大学

パートナ機関 (22)

アドバンスソフト株式会社

株式会社 ikura AI

株式会社ウェザーニューズ

AeroEdge 株式会社

エスペック株式会社

株式会社エムティーアイ

札幌市立大学

株式会社 JALUX

株式会社ソニック

大同大学

DoerResearch 株式会社

日本アビオニクス株式会社

日本ペイント・サーフケミカルズ株式会社

福井県

古野電気株式会社

北海道エアポート株式会社

北海道大学大学院理学研究院

菱重工業株式会社 民間機セグメント 事業開拓室

三菱電機株式会社 情報技術総合研究所

三菱電機ソフトウエア株式会社

メトロウェザー株式会社

山田技研株式会社

